

2024年

新年特別号

新しい言葉

社会福祉法人日本心身障害児協会
理事長 河 幹夫

聖書の『ヨハネによる福音書』の中に、次のような箇所がある。

(盲人が盲目に生まれついたのは) この人が罪を犯したのもでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現れるためです。

厳しい言葉であるが、因果応報を超えた慰めの言葉であり、私の尊敬する本間一夫(日本点字図書館創設者)先生もキリスト者として、この聖句を大切にされたという。

ひとは何故、障害を担うことになるのか。そしてどうしてその試練を超えていくことが出来るのか。この言葉を愛

した人は少なくなく、この言葉を基盤にした文化も小さなものではない。私もこの言葉に魅かれて、この地上を歩んできたように思う。

私たちの仕事の上には、困難があり、苦労があり、そして試練もある。しかしながらそのような中であって、今年も全てを超えて、「その仕事の上に導きがある」ことを信じて、ともに歩んでいきたいと思う。



ねむの木賞を受賞いたしました

社会福祉法人日本心身障害児協会 島田療育センター
療育部長 落合 三枝子

この度、第57回ねむの木賞を受賞いたしました。

ねむの木賞は、上皇后さまが作詞なさった「ねむの木の子守歌」の歌詞著作権を肢体不自由児事業振興のために昭和41年に日本肢体不自由児協会に下賜され、その翌年創設されたものです。11月8日品川ザ・プリンスさくらタワー東京で、日本肢体不自由児協会総裁常陸宮殿下ご臨席のもと、ねむの木賞・高木賞の授賞式が行われ、贈呈式の前に常陸宮殿下のご接見を賜りました。

ねむの木賞受賞は島田療育センターでは私で7人目です。この賞の受賞は、今まで島田療育センターが取り組んできたことに対する受賞であり、職員皆さんの受賞だと思っています。偉大な諸先輩方のひたむきな療育への情熱を側で拝見しながら今まで仕事をさせていただけたことは、私にとってとても大切な経験で大きな財産です。入職前の見学では、療育がどのようなものなのか全くわからないまま、島田療育センターに見学に来ました。職員の方が楽しそうにここでの様子を話してくださり、ここで働きたい、一般病院で行えなかったことがここではできるかもしれないと思い、平成11年に入職し現在に至ります。入職してから重症心身障害看護について、施設の中で暮らしていくことや、その時その時の一瞬が利用者様にとってとても大切な時間であることなど、様々な視点を利用者様と



ご家族、職員から学ばせていただきました。

この賞を頂けたことを励みとし、先輩方が大切にしてきたことを改めて職員と共に振り返り、共有し、利用者の方々へ豊かな暮らしが提供できるように精進していきたいと思えます。また、地域で生活している重症心身障害児者や医療的ケア児等の方々へのケアの方法についても、ニーズに合わせ伝えていけるようになっていかなければならないと強く思いました。皆様ありがとうございました。

幹部職員による

新年 ちょっとひと言



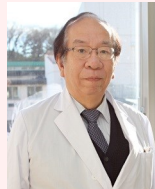
お題は…

過去に食べた一番美味しかったもの



河 幹夫 理事長

2004年7月、人事異動で北海道（札幌）に単身赴任することになった。50歳過ぎでの一人暮らしということで、少しの哀しさを味わうことになったが、初日に味わったトマトの美味しさには感動し、豊かな生活が始められた。



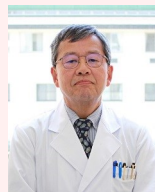
木実谷 哲史 名誉院長

私はお寿司が大好き。寿司屋ではおいしい魚を生でも焼いても煮てもおいしく出してくれます。行きつけの寿司屋でお酒を飲みながら、そこで出会った人と語らいながら過ごす時間は格別です。



久保田 雅也 院長

焼津で食べた名も知らない深海魚のから揚げが美味でした。



高山 真一郎 副院長

特別な状況の食事ではありませんが、生地であるので焼いたあんこに、生クリームがたっぷりかかっている、なじみのお好み焼き屋さんの“あんこ巻き”が一押しです。



小沢 浩 統括副院長

今は亡き、母のおにぎり。



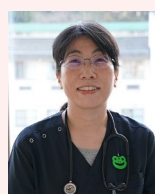
鮎澤 浩一 経営企画室室長

おふくろの卵焼き、おやじの餃子、そして、妻のカレー（現在進行形）。



野村 健介 医務部長 兼 児童精神科長

小学生の時に電車でスイミングスクールに行くことがありましたが、貯めておいた小銭を使ってその時に駅の売店で買って飲んだコーヒー牛乳でしょうか。大人の味がしました。



中村 由紀子 医務部長 兼 小児科長

北海道苫小牧生まれの私にとっての一番は「ハスカップ塩漬けのおにぎり」です。フルーティな梅干しのような感じですが、北海道の違う地域の人達にも驚かれます。



落合 三枝子 療育部長

高校の頃、部活の試合帰りに友人達と立ち寄って食べたソフトクリーム。1種～8種重ねの様々な味の組み合わせです。今でもそのお店はあるようです。（部活は秘密です）



森久保 真由美 事務部長 兼 支援部長

福岡博多で食べた鶏鍋、山形尾花沢のスイカです。鶏とスイカが好きなので、人生の最後の晩餐は是非、鶏とデザートにスイカを食べたいです！



高山 昌子 リハビリテーション部長

緊急事態宣言が明けて、ひさしぶりに出かけたインド料理レストランのカレー。「やっともとのペースに戻る・・・」と感じ、なじみの味も格別でした。



岸野 栄一 リハビリテーション部次長

子どもは2人いますが、息子は今年社会人となり、一人暮らしになりました。先日、娘の誕生日でした。あと何回、子どもの誕生日ケーキを味わえることやら…。

